

自動車避難対策の方向性

1 避難時交通実態分析の目的

地震発生後の津波警報に伴う交通混雑や渋滞について、12月8日及び4月20日の交通データや関係機関からの渋滞情報を分析し、要因分析を行う。

また、「津波避難施設の整備等に関する基本方針」における自動車避難の考え方と各種渋滞状況を照らし合わせ、自動車避難の在り方や抑制等の方策を検討する。

2 交通分析の結果

- ・3種類の交通データおよび市民・職員アンケート結果等を基に、12/8・4/20の交通混雑・渋滞の状況を分析した。

- ・各データの特徴

- ① 青森県警察本部交通規制課のデータ：主要道路について、15分間隔で上下線別に渋滞の状況（通行速度別：混雑10～20 km/h、渋滞10 km/h以下）がわかるデータを独自に整理した。大津波警報時の浸水開始予想時間を踏まえ、津波被害の可能性を分析している。
- ② 市営バスロケーションシステムのデータ：4/20の市営バスの運行ルートに限るが、バスの運行状況を通して、渋滞の時間帯や遅延時間のほか、バス停間の距離と合わせることで交通速度も詳細に分析可能。ただし、津波警報の発表により、鮫や白銀、山手通りなどの浸水区域の路線が運休となっているため、当該エリアのデータは取得できない。また、12/8はバスの運行時間帯外である。
- ③ KLA（KDDI・ロケーション・アナライザー）：KDDIの携帯電話の位置情報を基に、道路（上下線を合算したもの）の1時間当たりの通過人数を推計したデータ。1時間単位でしか集計できないが、市内全ての道路のデータを分析でき、図面化しやすい。上記①、②を補完する分析データで、主に平時との総交通量の比較により分析している。

ただし、平時から混雑している道路では、差が出にくい場合がある。

- ④ 各種アンケート結果：概ね、渋滞箇所は交通データ分析と一致している。

- ・以上の各種データを基に、今後、浸水域や避難所などの基礎データを踏まえながら、できるだけ図や表でわかりやすく示し、対応策の詳細を検討していく予定。

- ・交通分析結果の参考図表

1)上記①～③のデータを1枚の地図に重ね、渋滞リスク全体を見える化した図

- ・渋滞リスク道路図（全体・L1（津波警報レベル））

別紙1

- ・渋滞リスク道路図（全体・L2（大津波警報レベル））

別紙2

2)上記①②の個別データの図表

（①県警データ関係）

- ・「令和7年青森県東方沖の地震」発生直後の八戸市内渋滞発生状況 別紙3
- ・「令和8年4月20日の三陸沖の地震」発生直後の八戸市内渋滞発生状況 別紙4
- ・渋滞リスク道路図（県警データのみ） 別紙5
- （②市営バスデータ関係）
- ・「令和8年4月20日の三陸沖の地震」発生後の市営バスの遅延区間 別紙6
- ・渋滞リスク道路図（市営バスデータのみ） 別紙7

3 課題

・津波警報避難時に自動車避難に伴う渋滞が発生

- 深夜帯の12/8と比較し、夕方ラッシュ時の渋滞は多くのエリアに拡大した。
- 市民アンケート結果では、避難した方の約8割（12/8：85.3%、4/20：75.3%）が自動車で避難したと回答している。
- また、自動車での避難や移動中に約4割（12/8：36.8%、4/20：43.4%）が渋滞に巻き込まれたと回答し、渋滞の時間帯は、津波警報発生後「30分から1時間」が約3割（12/8：31.3%、4/20：32.7%）と一番多い回答となっている。
- 避難先の駐車場の混雑状況については、「満車で駐車できなかった」（12/8：2.9%、4/20：1.6%）、「駐車場がなかった」（12/8：1.4%、4/20：0.5%）の回答がともに3%未満にとどまり、概ね駐車場所は確保できていたものと考えられる。
- 主要幹線道路や高台へ向かう道路に自動車が集中
- 右折・左折レーンの渋滞が、直進レーンを塞ぐ（八戸工業大学の堀合助教分析）
- 主に右左折ができる大きな交差点（橋の部分含む）で渋滞が発生している。

・多くの市民がハザードマップ（L2 津波）を基に、車で避難したと思われる。

- 自動車避難者の増（徒歩避難可能な人や逃げなくてもいい人なども一定数いる）
- 市民アンケート結果では、自動車等の車両を利用した主な理由は、多い順に
12/8：夜間で暗い 38.9%、寒さ・天候 34.1%、避難所が遠い 26.6%、徒歩では間に合わない 26.3%
4/20：勤務先・外出先から帰宅しようとしていたため 52.3%、子供・家族の迎え・送迎 32.2%、徒歩では間に合わない 13.7%、避難所が遠い 11.8%
となっている。
- 職員アンケート結果では、車中泊やペット避難のニーズも一部あり。

・万が一大津波警報だった場合、場所によっては、津波に飲み込まれていた可能性があることが判明した。（警察データ分析）

- 12/8(深夜の閑散時)：6か所（※番号は別紙図表の番号に対応）

- 2 国道 104 号：下長小から大橋までの上下線
- 4 県道本八戸停車場線：本八戸駅付近から市庁前経由三日町方面
- 5 主要地方道八戸階上線：柏崎五丁目付近から国道 45 号方面
- 6 市道柳町根城線：青葉一丁目付近から国道 45 号方面
- 7 市道類家 2 号線：柏崎六丁目交差点付近から国道 45 号類家四丁目交差点
- 8 国道 45 号：青葉三丁目「市民センター前」バス停付近から新井田大橋方面
→4/20(夕方のラッシュ時)：上記 6 か所+13 か所
- 11 市道湊白銀線：工大一校前から三島上交差点
- 12 市道根城前田線：根城大橋周辺
- 13 県道八戸百石線：国道 45 号石堂立体交差から内舟渡交差点
- 14 国道 45 号：城下交差点から八戸郵便局前経由塩町交差点
- 15 市道本八戸駅沼館線：沼館交差点から国道 45 号城下交差点
- 16 市道日東通線：沼館交差点からピアドゥ前交差点
- 17 市道沼館城下線：ピアドゥ前交差点から八戸郵便局前
- 18 市道柏崎小中野線～小中野線：ラピア前から柏崎六丁目交差点
- 21 市道柳町根城線：柏崎二丁目から国道 45 号類家一丁目交差点
- 26 市道柳町根城線：諏訪一丁目
- 27 市道前田小田線：卸センター前から国道 45 号北バイパス跨線橋
- 28 主要地方道八戸三沢線：県合同庁舎前から八戸駅前
- 29 国道 454 号：県合同庁舎前から「えんぶりっち」

→浸水域が広がる大津波警報時こそ、市民一人ひとりが協力し合い、できるだけ自動車避難や運転を避け、徒歩避難に徹しなければ、車避難しなければならない人をはじめ多くの市民の命を危険にさらすことになることを認識する必要があることがわかった。

→最悪の想定として、渋滞に巻き込まれた場合は、キーをつけたまま、自動車を緊急的に一時駐車場に乗り捨て、徒歩避難に切り替えることも検討していく。

・自動車避難の危険性

→市営バスの運行データからは、平時から混雑傾向にあり、信号のある大きな交差点や複数の交差点をまたぐバス停間で、津波警報時、渋滞したことが分かっている。(平時と比べ 10 分から 20 分以上遅延が発生した区間もあり、ラピア周辺では、最大で 40 分近く遅れた区間あり)

→通常、10 分間あれば 540m、20 分あれば約 1 km 歩くことができるため、明らかに 徒歩避難の方がより遠くへ避難できることがわかる。

→徒歩で避難した方に避難行動中に困ったことを聞いたところ、回答数は多くはないものの、約 1 割 (12/8 : 13.0%、4/20 : 7.5%) の方が、「車の渋滞で歩きにくかった」と回答している。

→自動車避難せざるを得ない人が円滑に避難できない等

- ・特に、馬淵川以北の西エリアは、高台への避難路に限られるため、渋滞が発生しやすい。

→避難路や津波避難施設の整備が必要

4 課題に対する現状

- ・今回の津波警報時において、津波警報レベルの想定浸水域における渋滞がなかったことを確認した。(別紙1参照)

- ・道路交通量には限界があり、通常時でもラッシュ時間は 渋滞・混雑している道路あり

→平日の概ね 16:15~18:45 の時間帯

場所：根城大橋（馬場頭交差点）、平中⇒中心街方面、内舟渡、北バイパス⇒中心街方面、工大一高前⇒三島上交差点、八戸郵便局⇒中心街方面・石堂方面、本八戸駅⇒三日町方面、吹上公民館⇒新長横町方面 など

- ・自動車での指定避難所への避難（避難所周辺の混雑）

→本来、自動車避難は、より遠隔地の駐車場へ向かう必要がある。

- ・警報毎の避難対象地域、自動車避難ルールの周知不足

→市民アンケートでは、津波避難で自動車を使うことについてどう思うか聞いたところ、約6割が「状況によっては使ってよい」（59.4%）と回答している。

→市民アンケートで、今後、津波警報時に徒歩避難を促し、自動車避難を減らすために特に必要だと思うものを3つまで選択してもらったところ、多い順に

⇒自宅・職場ごとに「津波のときはここへ」とわかる地図・案内（45.5%）

⇒津波注意報・警報・大津波警報ごとの避難対象区域の周知（31.0%）

⇒高齢者・障がいのある方など車利用が必要な人のルール整理（30.6%）

⇒学校・保育施設等の引き渡し・迎いのルール明確化（27.7%）

⇒初動で開設する避難所・避難場所のわかりやすい発信（24.2%）

⇒車両を一時的に置ける場所の整理（23.4%）

という回答結果となっている。（※20%を超えた回答）

→自動車避難の実態や、高齢化の進展により徒歩避難が困難な方が増えていく可能性も踏まえ、徒歩避難を原則としながらも、自動車避難の在り方やルールづくりを検討していく必要がある。（国での今後の検討状況も注視し、参考にする。）

- ・地域との協議や避難訓練の不足

→八戸工業大学の堀合助教アドバイス：津波警報発令時に、携帯電話のGPS機能を活用したアプリを開発して、道路混雑状況や避難ルート等を示す研究や取組

が他都市で実施されているが、地震により道路が通行できなくなることも想定され、それにより逃げ遅れることも十分に考えられる。また、停電や通信障害により、アプリが使えなくなることも考えられるため、アプリやデジタルに頼りきってしまうのも問題である。地道に、地域と行政が話し合い、実際に徒歩や自動車避難訓練をするなどして、地域ごとに適切な避難行動を考えていくことが重要。

・小中学校、高校等の児童・生徒の自動車による迎え

・災害対応等の職場参集に伴う自動車の運転

→市職員、関係機関、施設管理者等が想定される。

職員アンケート結果：12/8に6割が自動車参集、自動車避難者との混在もあり

5 自動車避難対策の方向性（案）

- ・交通分析データ等を基に、渋滞の恐れのある主要避難路の迂回路案や一時駐車場の候補案を組み合わせ示し、自動車避難容認者の円滑な避難につなげる提案を行う予定。

今後、地域や関係機関等と協議・検討し、順次、了解を得ていく必要がある。

- ・渋滞データ重ね合わせ例（参考イメージ図）

根岸地区別紙8、下長地区別紙9、柏崎地区別紙10

6 津波避難の基本的な考え方（前提：共通認識）

- ・徒歩避難が原則（仮に大津波警報の場合、車が津波にのみこまれていた可能性があることが判明）
- ・まずは浸水区域から逃れることが目標（避難所に行くことではない）
⇒避難目標地点、目標地点までの避難路を実際に歩いてみる（自助訓練）
- ・自宅が被災するなど、戻れない場合は、指定避難所へ移動
- ・もし逃げ遅れた時は、近くの津波避難ビル、津波避難場所（屋外）へ避難
※避難しても、孤立する可能性があることに留意（職員は派遣できない）
- ・3日分（推奨1週間）の食料等を備え、すぐに持ち出して避難できるよう準備（自助）
- ・分散避難の考え方もあり（避難所以外にも縁故避難：知人・友人宅、在宅避難、ホテル、車中泊、近くの頑丈な高い建物など） ※それぞれの方に適した最適な方法を考える（自助）

7 自動車避難の基本的な考え方（案）

(1)目的

今回の津波警報発令に伴う自動車避難の交通分析により、改めて、万が一大津

波警報だった場合は、渋滞により多くの市民が津波にのみこまれ命の危険があったことがデタ的に立証されたところである。

また、渋滞を踏まえると、自動車避難より、徒歩避難の方が早く避難できるエリアがあることもわかった。

津波・大津波警報時は、徒歩避難が大原則ではあるが、一方で、自力で徒歩避難が困難な高齢者や障がい者等の円滑な避難ため、自動車避難を一部容認することとし、その際の基本的なルールを整理するものである。

自動車避難を広く容認するものではないので、留意すること。

また、津波警報時の浸水想定域は、沿岸部の一部のエリアにとどまり、基本的に自動車で避難する必要性が限定的であるため、あくまで、市として、大津波警報時の自動車避難のルールとして定めるものである。

(2)自動車避難容認者

- ・避難行動要支援者（近くに高台等がなく自力での避難が困難な高齢者や障がい者等）
- ・避難困難地域の歩行速度 0.5m/秒の者
- ・要支援者等の避難協力者（介助者兼運転手等）※できるだけ3～4人で乗合う
- ・発災時に、現に自動車移動中の者

(3)自動車避難先

避難所ではなく、より遠く、より標高の高い地域（近隣の町含む）

※エリア毎に具体的かつ現実的な目標設定が必要（※分散させる）

ただし、江陽地区及び小中野地区の避難困難地域に居住する歩行速度 0.5/秒の者（歩行困難者）に限り、避難対象地域外ではなく、津波避難ビルの「東部終末処理場」に向かうものとする。（他の避難車両の避難ルートと交錯するおそれがほばないため。）

(4)大津波警報時の自動車避難場所（現状で指定している場所）

- ・西エリア：多賀台クラブ前駐車場、北インター自然公園、北インター緑地公園
- ・中央エリア：白山台公園、南郷公民館、南郷体育館、南郷カッコーの森エコーランド
- ・東エリア：東運動公園駐車場

(5)追加する一時的自動車避難場所（追加設定）

⇒今後、検討していく。

(6)自動車避難経路

最短経路、迂回路など複数ルート案を設定。（※分散させる）

河川にかかる橋と踏切の通行は避ける。

また、土砂災害警戒区域・特別警戒区域に含まれる道路の利用は極力避け、迂回を実施する。

なお、冬季における積雪寒冷下においては、速度が低下するなどのリスクが起り得るので、より慎重に移動することが求められる。

※今後、検討していくが、現状では、「八戸市津波避難施設の整備等に関する基本方針」の別紙①「自動車避難経路案」を参照。

(7) 渋滞しやすい箇所（避難経路検討の参考としてもらう）

⇒12/8、4/20 の津波警報時に、大津波警報だったと仮定して、津波にのまれる可能性のあった場所や時間を明示し、それを踏まえて避難経路等を検討

(8) その他、自助・共助・公助の取組等

⇒津波・大津波警報時は、不要不急の自動車利用を控えること（自助）

⇒また、右左折レーンが混雑している際は、できるだけ直進し、目的地を過ぎてから迂回して向かうことを心掛ける。（自助）

⇒警察、消防団、自主防災組織、市の交通誘導等に係る支援の内容

⇒今後、国での自動車避難の在り方の検討結果も踏まえていく必要がある。

8 自動車避難対策の方針（提案）

(1) 基本目標：抑制・分散・低減

(2) 「八戸モデル」構築に向けた取組

- ① 徒歩避難が大原則（仮に大津波警報の場合、車が津波にのみこまれていた可能性があることが判明）
- ② 自動車避難容認者の円滑避難対策（ルール明確化、迂回路・一時駐車場確保）
- ③ 事前の最悪の想定（高台手前の渋滞付近にも一時駐車場の確保⇒徒歩避難に切り替え）
- ④ アプリの研究・開発（津波避難の平時確認用アプリの研究・開発）

9 課題解決の方向性

提案1 自動車交通量の抑制

(1) 津波警報時（3メートル未満：L1津波）の避難対象地域の明確化・周知^{短期}

⇒警報時に逃げなくてもいい多くの人が、車を使って逃げていたと思われる

(2) 津波警報時は不要不急の自動車利用を控えることについて、全市的呼びかけ^{短期}

⇒全市民が津波避難の考え方を共通認識し、津波警報時の行動に協力し合う。

(3) 小・中学校、高校等の保護者への児童・生徒の引渡しルールの見直し^{短期}

⇒保護者への児童・生徒の引渡しラッシュ時及び津波警報発令中に一斉に行われ、渋滞に拍車をかけたと思われる。また、学校への出入口が狭く、1か所しかない所が多いため、渋滞が発生しやすい。

ラッシュ時間、渋滞状況等を踏まえた引き渡し時間の調整等できないか

(4) 市の災害時参集職員等の自動車利用や混雑の低減^{短期}

⇒現在、市庁前広場に参集職員の車両を駐車しているが、臨時で中央駐車場を開放するなどして混雑の軽減を図れるか検討。

また、特に災害対応のない職員は、部内で調整したうえで、初動参集しないこ

となどが可能かを検討。

提案2 自動車避難ルールの明確化・周知

(1)自動車避難ルールの明確化・周知短期

⇒「徒歩避難が原則」としたうえで、自動車避難容認者の考え方や、車避難する場合の避難場所や留意点等を対象者だけでなく、全市民に周知する必要がある。
現在は、津波警報時の避難方法の考え方が方針に示されているだけで、積極的に周知してきていない。

(2)津波避難に係る地域との協議中期

⇒自動車避難の考え方も含めた津波避難のルールについて、定期的に地域と協議し、理解の促進を図る。

(3)自動車避難訓練の強化・拡充中期

⇒当市では、令和7年度の市総合防災訓練で、江陽地区及び小中野北部地区の自動車避難訓練を、また、令和6年度・令和7年度の「あおもり防災チャレンジ」の取組で下長地区、根岸地区及び高館地区の一部における自動車避難訓練を実施しているところであるが、自動車避難訓練の更なる強化や訓練実施地域の拡充を図る。

(4)津波避難アプリの研究・開発長期

⇒クロステック等を活用し、各種警報時の想定浸水域、各種避難施設、避難ルート案などが平時から確認できる津波避難の平時確認用アプリを研究・開発する。

提案3 自動車避難時の混雑・渋滞の緩和

(1)自動車避難経路の迂回路案の設定中期

⇒交通データの分析結果を踏まえ、高台へ最短経路で向かう主要避難路（渋滞の可能性が高い道路）に加え、一時的駐車候補地案も組み合わせた迂回路案を複数設定し、自動車避難容認者の避難ルート検討の判断材料にしてもらい、円滑な避難につなげる。

⇒合わせて、実際の渋滞箇所のデータも示し、避難経路の検討の参考とする。

⇒必要に応じて、専門家を交えた協議やコンサル等による本格的な交通シミュレーション分析の実施も検討

(2)一時的駐車場所（バックヤード）の確保中期

⇒公共施設の駐車場の活用

⇒災害協定の締結事業者の活用、ルール整備（実効性確保）

サンデー、ユニバース、よこまち、八食センター、共同物流サービス、

横浜ファーマシー(スーパードラッグアサヒ)、青い森信用金庫、陸自・海自

⇒新規事業者との災害協定締結の推進（コンビニやドラッグストアなどの各種商業施設等の駐車場の活用について、協議を進める。）

⇒海自八戸航空基地隣接防衛省用地の活用（看板・入口等整備:R9 予算化検討）

※八戸野辺地線の道路沿い用地

⇒最悪の事態も想定し、高台に上がる前の浸水域の一時駐車場所も活用し、渋滞時の緊急的に乗り捨てられる駐車場も確保し、徒歩避難に切り替えてもらうことも検討。（店舗数の多いコンビニ等の駐車場の活用も想定）

(3)警察、消防団等の協力による自動車誘導の実施【中期】

⇒一時駐車場所を踏まえた、警察・消防団への誘導協力要請

(4)高台地域の自主防災組織の協力による受入れ態勢の整備【中期】

⇒例）高館・多賀台・豊崎地区（西エリア）、田面木・根城・白山台・長者・是川・南郷地区（中央エリア）、白銀南・湊高台・東・大館地区（東エリア）など（※今後、地域と協議し、協力可能な地域と連携する。）

⇒一時駐車場所内の交通整理など

(5)避難路や津波避難施設の整備【長期】

⇒自動車避難路が限られる下長地区の対策

- ・都市計画道路 3.2.3 の整備
- ・跨線橋の拡幅整備

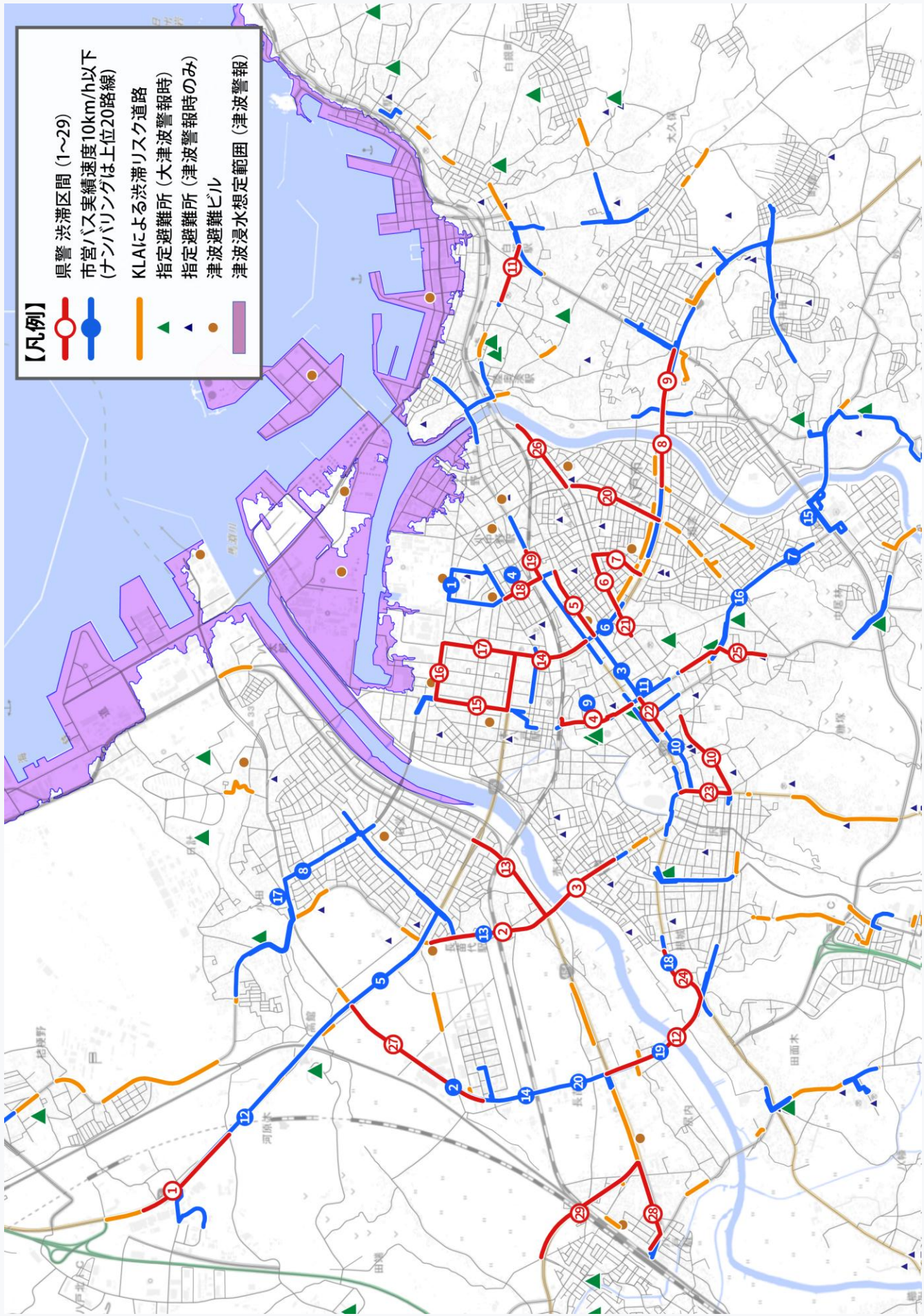
⇒避難困難地域の解消等に向けた津波避難施設の整備

- ・避難路（徒歩避難者限定）の整備（根岸地区）
- ・津波避難タワーの整備（根岸地区・下長地区）
- ・津波避難ビルの整備（下長地区）
- ・指定避難所の整備（大館地区）※避難対象地域からの避難者の受入れ

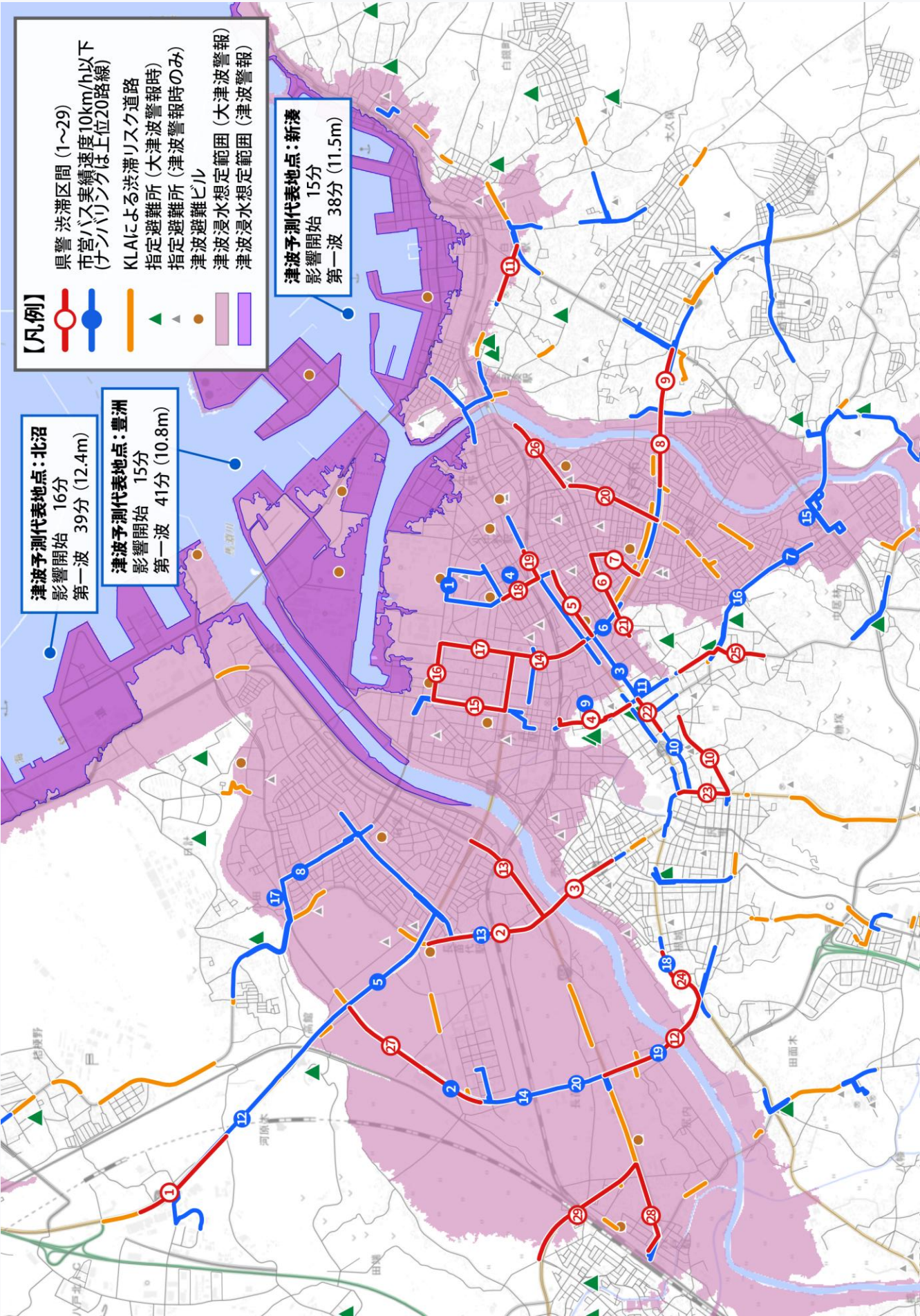
※各提案に掲げる項目の実施時期の目安

【実施済】、【短期】：年度内、【中期】：3年以内、【長期】：4年以上

渋滞リスク道路図（全体・L1（津波警報レベル））



渋滞リスク道路図（全体・L2（大津波警報レベル））



「令和 7 年青森県東方沖の地震」発生直後の八戸市内渋滞発生状況

(青森県警察本部交通規制課資料より)

地震発生時刻 23:15、「△」は 10~20km/h、「×」は 10km/h 以下

	道路名称等	渋滞発生区間 (最大想定津波浸水開始予想時刻)	12/8 23:30	23:45	12/9 0:00	0:15	0:30	0:45	1:00
1	国道 45 号	南部山運動公園付近から北インター工業団地方面 (－)		△	×	×	×		
2	国道 104 号	下長小から大橋までの上下線 (23:58)		×	×				
3	国道 104 号	大橋から売市方面 (0:56)			×				
4	県道本八戸停車場線	本八戸駅付近から市庁前経由三日町方面 (0:00)		×	×				
5	県道八戸階上線	柏崎五丁目(青森みちのく銀行下組町支店) 付近から国道 45 号方面 (23:57)		×					
6	市道柳町根城線 (ゆりの木通りの延長線上)	青葉一丁目(報恩会館) 付近から(ナナオ家具経由) 国道 45 号方面 (0:01)			×				× ※
7	市道類家 2 号線	青葉一丁目(報恩会館) 付近から(青森みちのく銀行類家支店経由) 国道 45 号方面 (0:01)		×	×				
8	国道 45 号	青葉三丁目「市民センター前」バス停付近から新井田大橋方面 (23:54)		×	×				
9	国道 45 号	新井田大橋から四本松交差点方面 (2:22)		×	×	△			
10	市道柳町根城線 (ゆりの木通り)	長者まつりんぐ広場付近から平中交差点方面 (－)			×	×			
11	市道湊白銀鮫線	工大一高前付近から三島上交差点(セリア) 方面 (0:46)		×	△				

 は津波被害の可能性あり、 は津波被害の可能性なし

※0:00 とは逆方向(帰路)の渋滞

2 : 長苗代一丁目→43 分

3 : 売市四丁目→101 分

4 : 内丸一丁目→45 分

5 : 柏崎五丁目→42 分

6 : 青葉一丁目→46 分

7 : 青葉一丁目→46 分

8 : 諏訪三丁目→39 分

9 : 新井田字寺沢→187 分

11 : 白銀町字右岩淵通→91 分

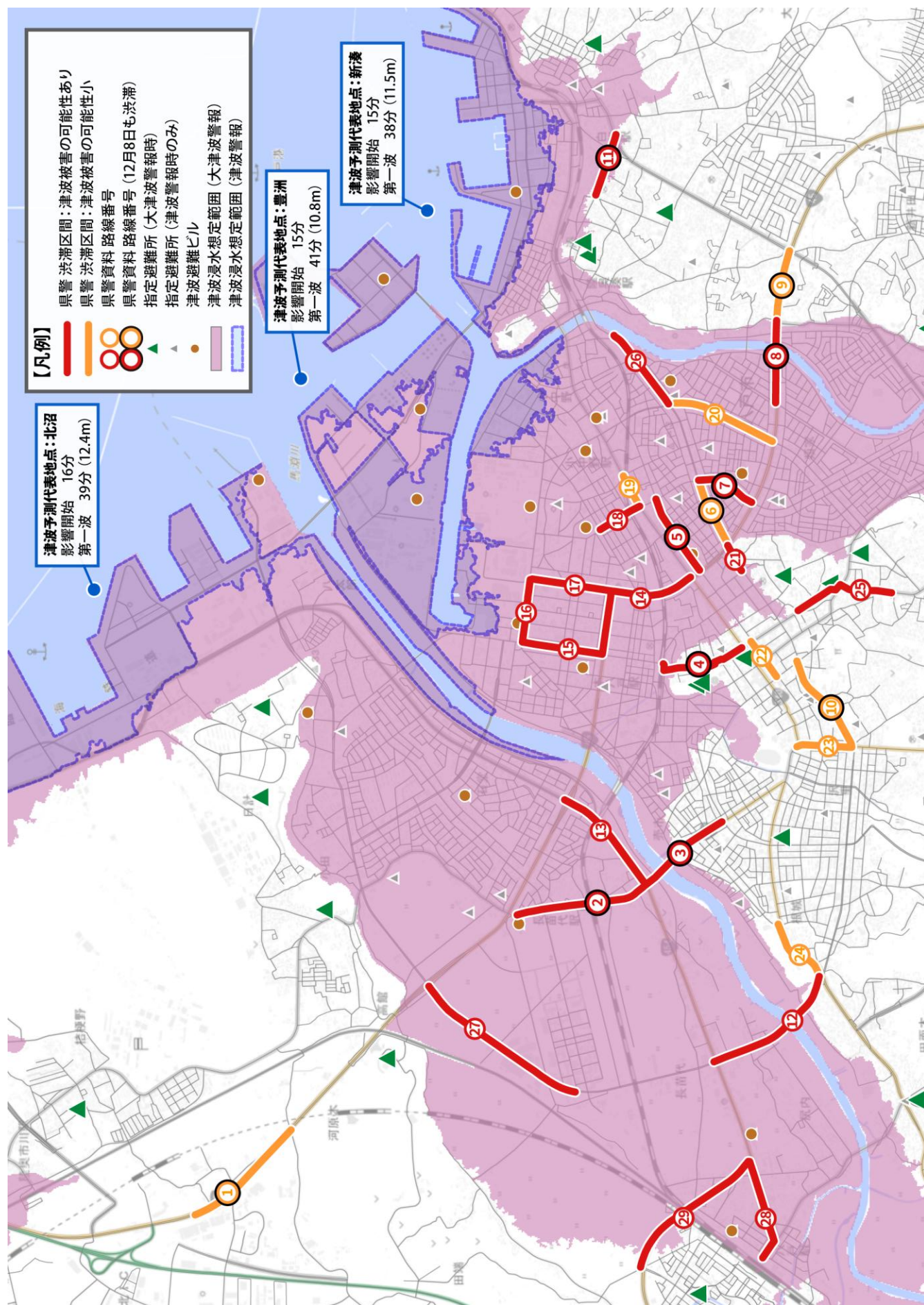
「令和 8 年 4 月 20 日の三陸沖の地震」発生直後の八戸市内渋滞発生状況（青森県警察本部交通規制課資料より）
地震発生時刻 16：53、「△」は 10～20km/h（混雑）、「×」は 10km/h 以下（渋滞）■は津波被害の可能性あり、■は津波被害の可能性なし

		道路名称等	渋滞発生区間 （最大想定津波浸水開始予想時刻）	4/20 17:00	17:15	17:30	17:45	18:00	18:15	18:30	18:45	19:00	19:45	20:00
令和 7 年 12 月 8 日の青森県東方沖の地震でも渋滞が確認された路線	1	国道 45 号	南部山運動公園付近から北インター工業団地方面（－）		×	×	×	×	△	×	×	×		
	2	国道 104 号	下長小から大橋までの上下線（17:36）		△	×	×	×	×	×	×	△	△	
	3	国道 104 号	大橋から売市方面（18:34）						△					
	4	県道本八戸停車場線	本八戸駅付近から市庁前経由三日町方面（17:38）		×	×	×	×	×	×				
	5	主要地方道八戸階上線（県）	柏崎五丁目（報恩会館）付近から国道 45 号方面（17:35）			×	×							
	6	市道柳町根城線	青葉一丁目（報恩会館）付近から（ナナオ家具経由）国道 45 号類家一丁目交差点（館花下）（17:39）		△	×								
	7	市道類家 2 号線	柏崎六丁目交差点（報恩会館）から国道 45 号類家四丁目交差点（青森みちのく銀行類家支店）（17:33）			×	×	△	×					
	8	国道 45 号	青葉三丁目「市民センター前」バス停付近から新井田大橋方面（17:32）		△	×	×	×	×	×	×			
	9	国道 45 号	新井田大橋から四本松交差点方面（20:00）		△	×	×	△	×	×	×			
	10	市道柳町根城線（ゆりの木通り）	長者まつりんぐ広場付近から平中交差点（－）				×	×	×					
	11	市道湊白銀鮫線	工大一高前から三島上交差点（セリア前）（18:24）		△	△	△	×	△	△	×	△		
今回の地震で新たに渋滞が確認された路線	12	市道根城前田線	根城大橋周辺（カブセンター長苗代店前から馬場頭交差点）（17:52）			×	×	×	×	×	×	△	×	
	13	県道八戸百石線	国道 45 号石堂立体交差から内舟渡交差点（17:35）		×	×	×	×	×	△				
	14	国道 45 号	城下交差点（洋服の青山前）から八戸郵便局前経由塩町交差点（17:34）		×	×	×	×	×	×	×	×		
	15	市道本八戸駅沼館線	沼館交差点（ドコモショップ前）から国道 45 号城下交差点（洋服の青山前）（17:33）		×	×		×						
	16	市道日東通線	沼館交差点（津波防災センター付近）からピアドゥ前交差点（17:33）		×	×	×	×						
	17	市道沼館城下線	ピアドゥ前交差点から八戸郵便局前（17:33）		△	×	×	×	×					
	18	市道柏崎小中野線～小中野線	ラピア前から柏崎六丁目交差点（報恩会館前）（17:33）		×	×	△							
	19	主要地方道八戸階上線（県）	キクヤ食堂（小中野四丁目）前交差点から青森みちのく銀行小中野支店前（17:34）		△	×								
	20	市道類家 1 号線	総合教育センター付近から国道 45 号類家五丁目交差点（ツルハドラッグ前）（17:34）			△								
	21	市道柳町根城線（ゆりの木通り）	柏崎二丁目（旧柏崎小学校前）から国道 45 号類家一丁目交差点（館花下）へ（17:46）			×	×	×						
	22	市道上組町湊線	朔日町から十六日町（20:01）			×	×						△	
	23	国道 340 号	新荒町丁字路から平中交差点（－）			×	△	×	×	×				
	24	国道 104 号	博物館入り口交差点から馬場頭交差点（－）			△	×	×	×	×	△			
	25	県道妙売市線～主要地方道八戸大野線（県）	新長横町から吹上公民館前（－）		×			△						
	26	市道柳町根城線	諏訪一丁目（総合教育センター付近から八田グループ本社前）（17:27）						×					
	27	市道前田小田線	卸センター前から国道 45 号北バイパス跨線橋（河原木交差点）（17:47）						△	×				
	28	主要地方道八戸三沢線	県合同庁舎前から八戸駅前（18:43）							×	×	×		
	29	国道 454 号	県合同庁舎前からえんぶりっち（18:43）							×	×			

各路線の基準とした町字名と浸水開始予想時間

- 2：長苗代一丁目（43 分）
- 3：売市四丁目（101 分）
- 4：内丸一丁目（45 分）
- 5：柏崎五丁目（42 分）
- 6：青葉一丁目（46 分）
- 7：江陽一丁目（40 分）
- 8：諏訪三丁目（39 分）
- 9：新井田字寺沢（187 分）
- 11：白銀町字右岩淵通（91 分）
- 12：長苗代字幕ノ内（59 分）
- 13：長苗代三丁目（42 分）
- 14：城下四丁目（41 分）
- 15：沼館一丁目（40 分）
- 16：沼館一丁目（40 分）
- 17：沼館一丁目（40 分）
- 18：江陽一丁目（40 分）
- 19：小中野一丁目（41 分）
- 20：小中野三丁目（41 分）
- 21：柏崎二丁目（53 分）
- 22：朔日町（188 分）
- 26：諏訪一丁目（34 分）
- 27：卸センター一丁目（54 分）
- 28：長苗代字鴨田（110 分）
- 29：長苗代字鴨田（110 分）

渋滞リスク道路図（県警データのみ）



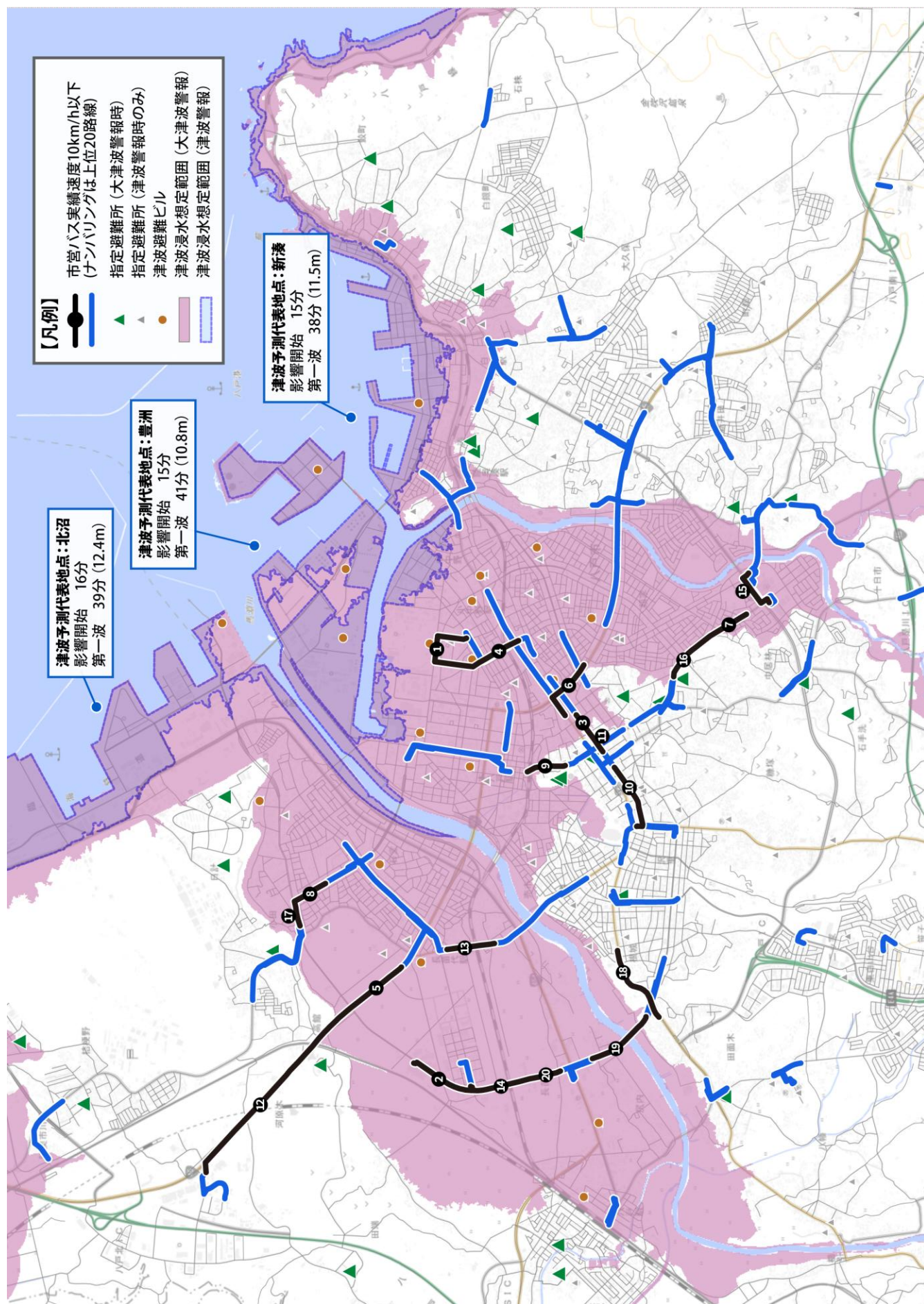
「令和8年4月20日の三陸沖の地震」発生後の市営バスの遅延区間
(実績速度10km/h以下のうち移動時間上位20区間)

別紙 6

※出典:市営バスのバスロケーションシステムデータ

順位(移動 時間順)	遅延バス停区間(from→to)	距離(m)	移動時間 (分:秒)	実績速度 (km/h)	実際の時間帯 (推定)
1	ラピアバスセンター → ラピア	1097.7	46:10	1.4	17:08～17:54
2	中央市場 → 卸センター入口	765.7	23:08	2	18:08～18:31
3	下大工町 → 八戸中心街ターミナル(六日町)	489.6	22:17	1.3	19:49～20:11
4	ラピア → 栄町	488.4	20:49	1.4	17:35～17:56
5	南部山公園通 → 下長	1650.7	19:59	5	18:19～18:39
6	二十八日町 → 館花下	733.9	18:06	2.4	17:14～17:32
7	間ノ田 → 田向	585.1	17:06	2.1	17:50～18:07
8	河原木団地 → 長寿温泉前	455.1	16:02	1.7	17:56～18:12
9	本八戸駅 → 市庁前	425.8	15:36	1.6	19:44～19:59
10	十六日町 → 新荒町	624.5	12:58	2.9	17:38～17:51
11	八戸中心街ターミナル(朔日町) → 八戸中心街ターミナル(六日町)	171.4	12:03	0.9	19:01～19:13
12	ハイテクパーク入口 → 南部山公園通	1457	11:17	7.7	18:07～18:19
13	千田 → 長苗代	519.8	10:35	2.9	18:10～18:21
14	卸センター入口 → メディカルコート八戸西病院	671.1	10:35	3.8	19:06～19:17
15	イオン田向店 → 毘沙門前	540.9	10:29	3.1	17:59～18:10
16	田向 → 一中前	479.7	9:24	3.1	17:27～17:36
17	長寿温泉前 → 小田	203.7	9:21	1.3	17:06～17:15
18	根城 → 馬場	895.4	8:59	6	18:26～18:35
19	整備団地前 → 根城大橋	756.2	8:54	5.1	17:28～17:37
20	メディカルコート八戸西病院 → 卸センター通	343.5	8:00	2.6	18:43～18:51

渋滞リスク道路図（市営バスデータのみのみ）



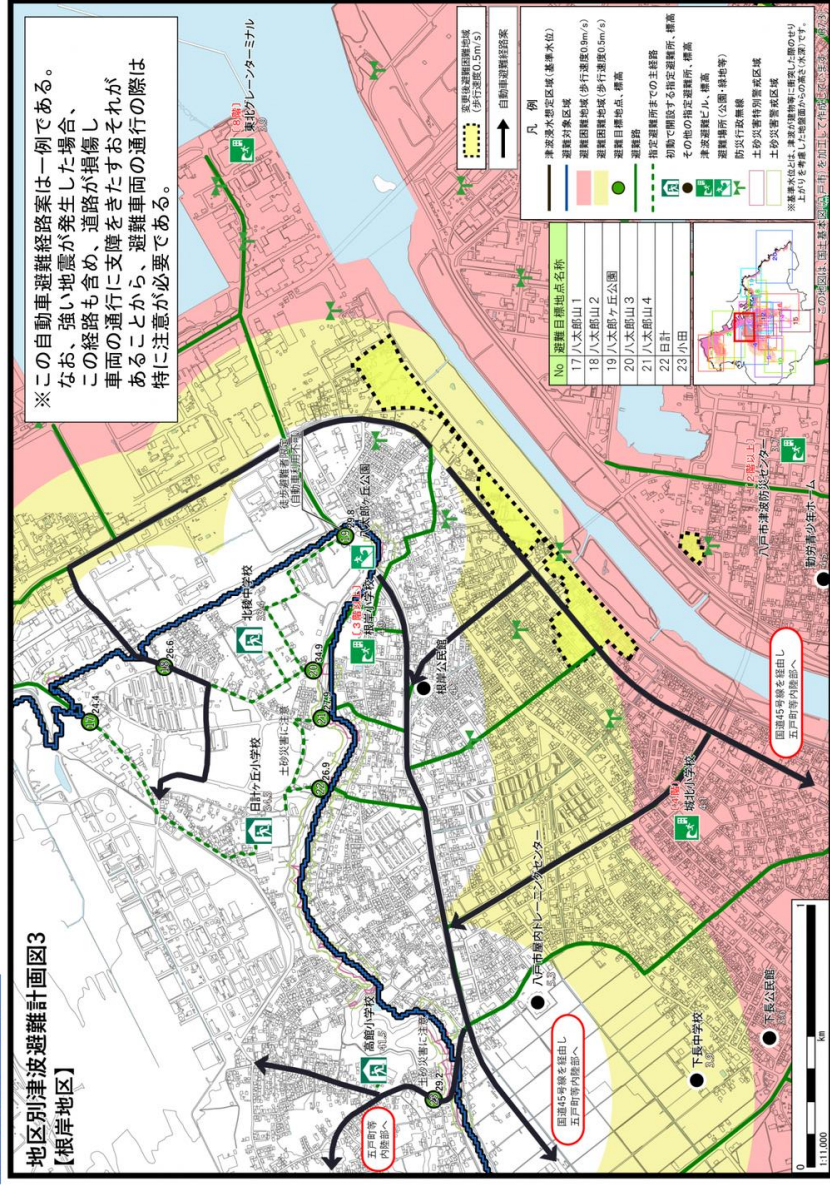
根岸地区：洪滞ディ一タ重ね合わせ例

基本方針本編の避難経路案 (左) + 渋滞リスク道路図 (右)

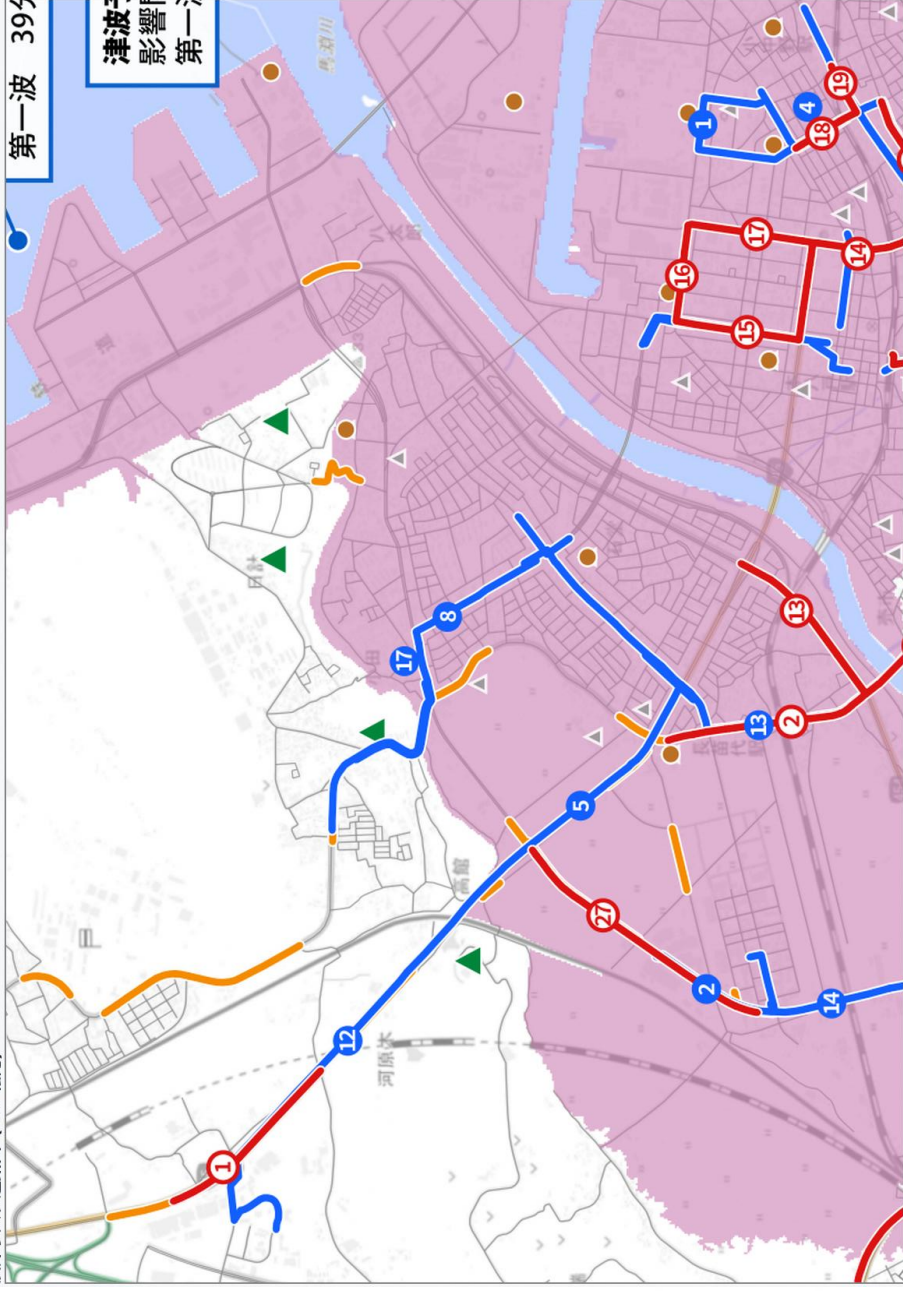
基本方針本編原図

變更後避難困難地域及び自動車避難経路案

②根岸地区



渋滞リスク道路図 (PDF転記)



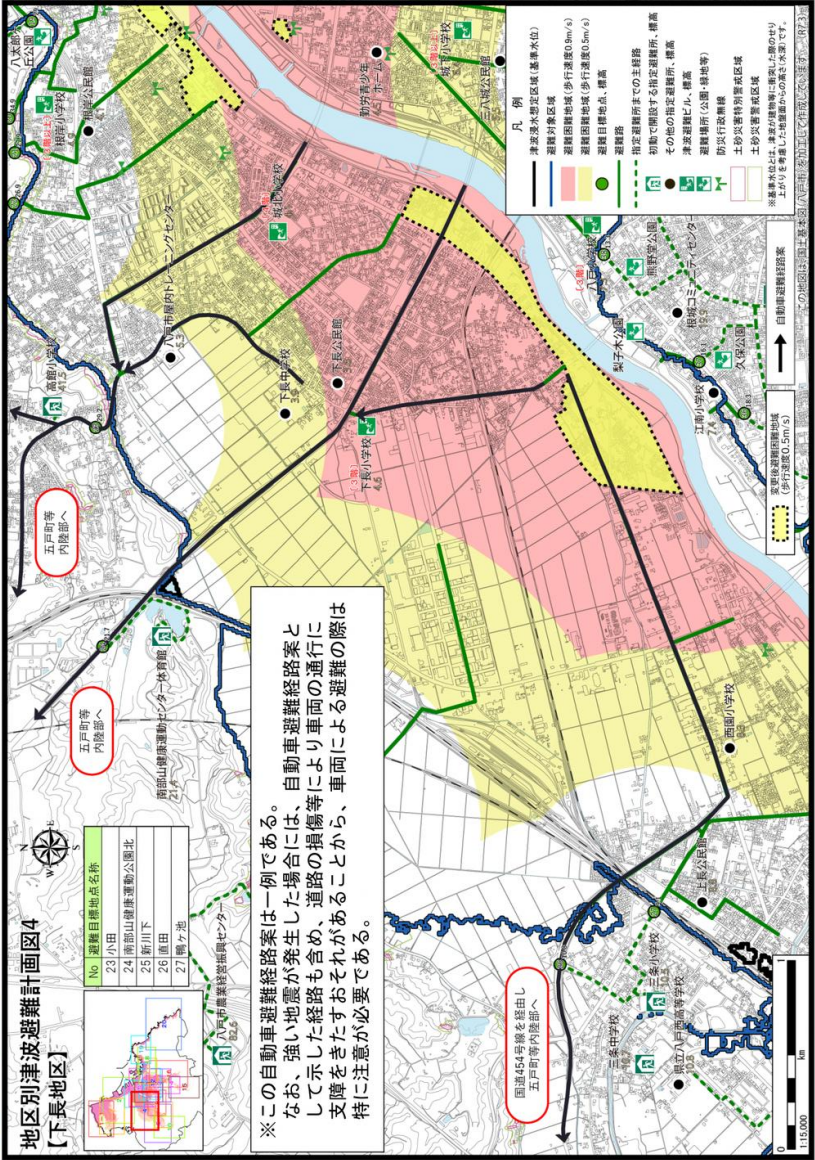
下長地区：渋滞データ重ね合わせ例

基本方針本編の避難経路案（左）＋渋滞リスク道路図（右）

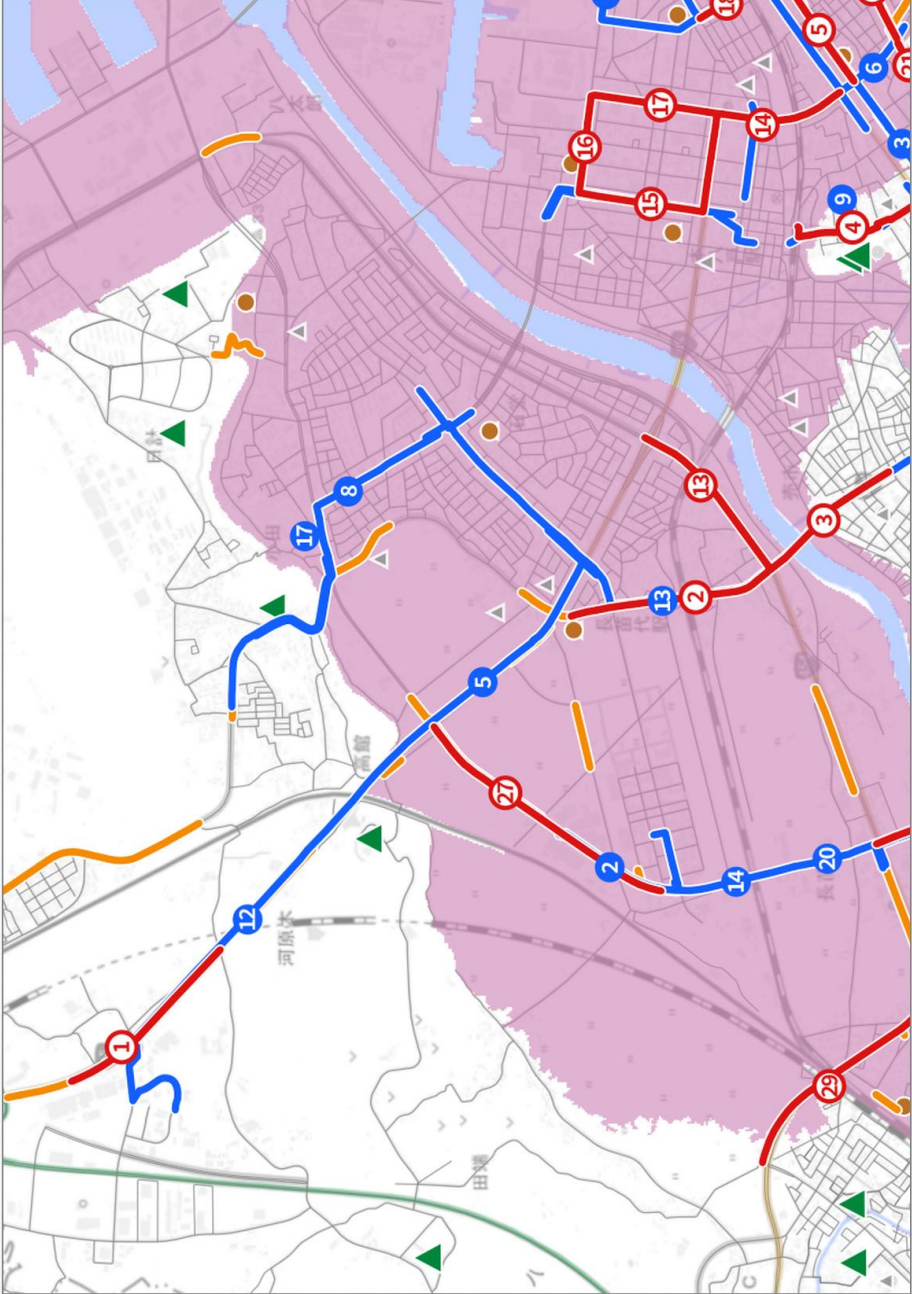
基本方針本編原図

変更後避難困難地域及び自動車避難経路案

③下長地区



渋滞リスク道路図（PDF転記）



基本方針本編の避難経路案 (左) + 渋滞リスク道路図 (右)

⑧ 柏崎地区

